

安全なお部屋作り



★リビング編★

コンセントにはカバーを！
はいはいの赤ちゃんにとっては、
目線の高さで、興味の対象になり
ます。ヘアピンなど電気を通すも
のをに入れて遊ぶと、感電の危険性
があるので注意が必要です！！

電気コードは収納！
コードに足を引っかけて転んで
しまうことも。また、コードを引
っ張って、電化製品が落ちてくる
可能性も！コードは短くまとめ
て手の届かないところに収納し
ておきましょう。

鋭い家具にはクッション材を！
おすわりが安定しない時期や、
よちよち歩きの頃は、バランスを崩して
転んでしまうことも。
そんな時にテーブルの角や硬くて鋭い
ところに頭や顔をぶつけしまうと大変
です。打ちどころによっては危険も伴う
ので注意しましょう。

指挟みに注意しましょう！
ドアを開け閉めする時は、お子さんの手
の位置を確認しましょう。ドアが勢いよ
く閉まってしまわないようにドアスト
ッパーなどを活用しても良いですね。

キッチン編



洗剤などが入っている扉をロック！
シンク下のキャビネットには調味料や洗剤や漂白剤などを収納しているご家庭が多いかと思います。つかまり立ちをする時など、何かの拍子にドアが開く可能性もあります。ロックをお忘れなく！

ポットや炊飯器は手の届かないところへ！
ポットはロックしていても解除されてお湯が出る可能性も。炊飯器の蒸気は高温で危険です。熱い鍋や、温かい飲み物が入ったマグカップなど、火傷の危険性があるものは、全てお子さんの手の届かないところにおきましょう。

包丁は使用したらすぐお片付け！
調理台や洗い桶に置きっぱなしにせず、収納しましょう。また、刃物の収納場所は簡単に開けられないように、ロックをかけると安心です。

ビニールなどの窒息に注意！
ビニール袋はかぶってしまうと、窒息の危険性があります。ラップも鼻や口に密着すると窒息を招く危険性があります。勝手に遊ばないように手の届かないところに片付けましょう。



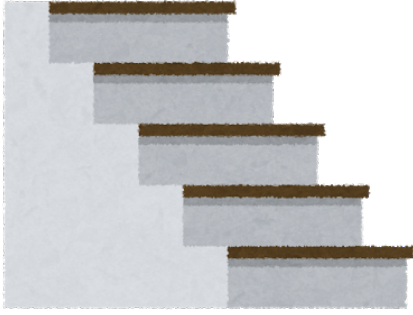
洗濯機も溺れる原因になるので
注意が必要です！
洗濯機の中の水もためないように
します。洗濯機の中を覗き込んで落下して
しまわないよう、周りに踏み台になるものを
置かないようにしましょう。

浴槽の残り湯は必ず抜きましょう！
節水のためには大切ですが、お子さんが
小さいうちは溺れる危険性があるので
注意が必要です。

浴槽のフタは硬いものをしましょう！
高いところに登りたがるのがお子さん！
フタの上に乗って湯船に落ちてしまうと溺れ
る危険性があります。熱でたわまない硬いも
のを選びましょう。

浴室の床やタイルには滑り止めを！
濡れた浴室の床や浴槽の中は、滑りや
すくなっています。滑り止めマットを
敷くなど、滑りにくいような工夫をし
ましょう。

階段・廊下編

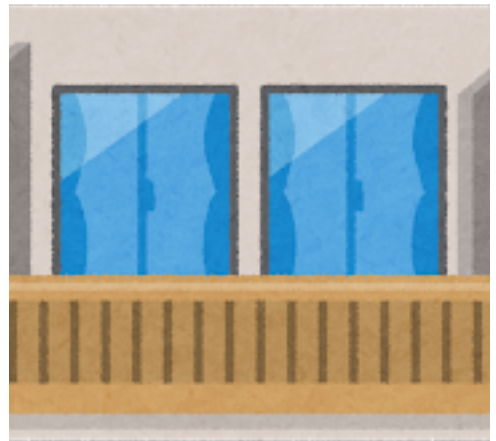


階段の上下には転落防止対策のベビーゲートをつけましょう！
お子さんが一人で階段を上り下りできないように、階段の上下には、ベビーゲートを取り付けておくと安心です。

滑りやすい階段には
滑り止めをつけましょう！
滑って転倒・転落をしないよう、滑り止めをつけておきましょう。お母さん・お父さんもお子さんを抱っこして階段を上り下りする時には気をつけてくださいね。

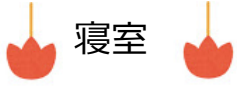
ベランダ編

ベランダには踏み台を置けません！！
踏み台はなくても、ガーデニングなども
踏み台になってしまう可能性があります。
登って遊ばないように物を置かないように
しましょう。



窓のそばに這い上がれる物は置けません！
ベットやソファ、イスやテーブルなど、
窓の近くに、はい上がれるものがあると窓を
覗き込んで、転落してしまうかもしれません。

高窓には転落防止の柵を！
危険な場所には鍵をかけて、
お子さんが一人で出入りでき
ないようにしましょう。ベラ
ンダだけでなく、転落の危険
性がある高窓には、転落防止
柵をつけましょう。柵をつけ
ても、過信せず、窓を開ける時
にはなるべく目を離さないよ
うにしましょう。



寝室

ベビーベットの柵が上げたままに！
寝かしついたり、おむつ交換をした後の
上げ忘れに注意してください。ちょっと目を
離した隙に転落してしまうかもしれません。
柵は必ず上げておく習慣をつけましょう。

温風・冷風は直接あてないように！
熱風を長時間あてると
低温やけどをしたり、
体調を崩す原因となります。

お子さんが寝ている上には物が落ちてこ
ないようにしましょう！
地震などで時計や棚の上の置物が落ちてこ
ない場所にお子さんを寝せるように場所を
選びましょう。



その他の事故防止について

誤飲・誤嚥

誤飲は特に生後6ヶ月～2歳までの男の子に多いです！



注意すべきもの

ボタン電池や磁石、お薬（錠剤）
たばこ、洗剤、丸くつるつるした食品（ピーナッツ、枝豆、キャンディ、団子、こんにゃくゼリー、お餅、グミなど）

誤飲で1番多いものは**1位 たばこ** 2位 医薬品 3位 プラスチック製品やおもちゃです。

誤嚥の症状

- ・急に咳き込む（激しい咳き込み）
- ・呼吸困難
- ・窒息
- ・チアノーゼ

予防のポイント

- 1.直径3.9mm以下の物は床から1m以上の高さに置きます。
この時、手を伸ばした時に届かないように、奥の方に置くと更に良いです。
- 2.小さなおもちゃは、4歳になってから！
- 3.ピーナッツなどは細く刻んでから与えましょう。

異物を口に入れているのを発見したら、大声を出して慌てさせたり、叱ったりしてしまうと、お子さんがびっくりして、泣いた拍子に吸い込んでしまうのであわてず、吐き出させます。

